第 16 期　決 算 公 告

広島県広島市南区皆実町二丁目7番1号
瀬戸内パイプライン株式会社
代表取締役　谷村　武志

貸　借　対　照　表

(2019年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	184,345	流動負債	954,520
現金及び預金	503	1年以内返済予定の長期借入金	351,796
売掛金	22,496	1年以内返済予定の関係会社長期借入金	295,916
関係会社売掛金	89,303	買掛金	1,024
未収入金	−	関係会社買掛金	1,497
原料	3,381	未払金	47,967
貯蔵品	6,844	未払法人税等	71,778
前払費用	1,118	未払費用	17,682
関係会社短期貸付金	60,698	関係会社短期借入金	160,000
		関係会社短期債務	6,174
固定資産	4,624,836	預り金	682
有形固定資産	4,624,578		
建物	43,659	固定負債	2,545,609
建物付属設備	5,479	長期借入金	733,040
構築物	6,158	関係会社長期借入金	1,687,973
機械装置	4,498,620	資産除去債務	114,965
工具器具備品	360	繰延税金負債	9,630
建設仮勘定	70,300	負債合計	3,500,129
無形固定資産	36	純資産の部	
電話加入権	36	株主資本	1,309,052
		資本金	150,000
投資その他の資産	221	資本金	150,000
長期前払費用	63	資本剰余金	150,000
その他投資	158	資本準備金	150,000
		利益剰余金	1,009,052
		その他利益剰余金	1,009,052
		繰越利益剰余金	1,009,052
		純資産合計	1,309,052
資産合計	4,809,181	負債及び純資産合計	4,809,181

瀬戸内パイプライン株式会社

個　別　注　記　表

（２０１８年４月　１日から
２０１９年３月３１日まで）

Ⅰ．重要な会計方針に関する注記

１．資産の評価基準および評価方法
たな卸資産の評価基準および評価方法
移動平均法による原価法
（貸借対照表価格は収益性の低下による簿価切り下げの方法により算定）

２．固定資産の減価償却の方法
有形固定資産

建物、建物付属設備、構築物、機械装置、附帯事業設備	定額法
工具器具備品	定率法

３．収益および費用の計上基準
収益は実現主義、費用は発生主義により計上しております。

４．その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

Ⅱ．当期純損益金額

１．当期純利益の金額　　259,889 千円

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。